

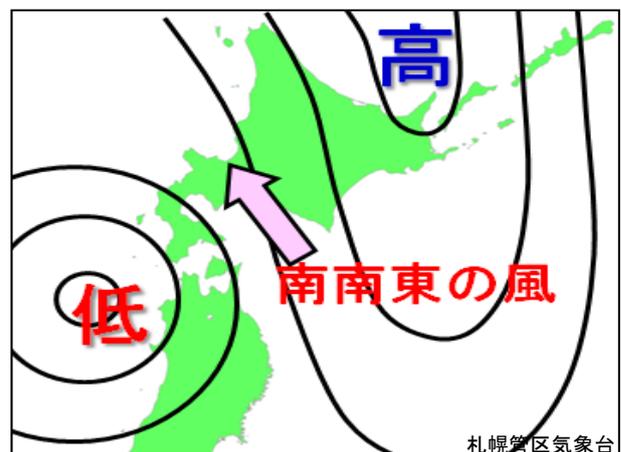
局地風を知っていますか？

局地風とは、ある特定の地域に吹く強い風のことをいいます。局地風は日本各地でさまざまな名前で呼ばれていますが、主に次のような種類の風があります。

- おろし...山側から吹きおろす強い風のことです。阪神タイガースの応援歌の名前にもなっている「六甲おろし」や「手稲おろし」などがあります。
- だし...陸地から海に向かって吹く風のことです。山間部を吹き抜ける風を作る気圧配置があれば、起こる可能性があります。「寿都だし」や「羅臼だし」などがあります。

北海道の局地風「寿都だし」

寿都は北西側が海へと開けており、また北西から南東にかけて山に挟まれて狭くなっています。南南東の風がこの山に挟まれているところを吹きぬけると強い風になります。過去には、1952年に最大風速で49.8m/sの記録が残っています。

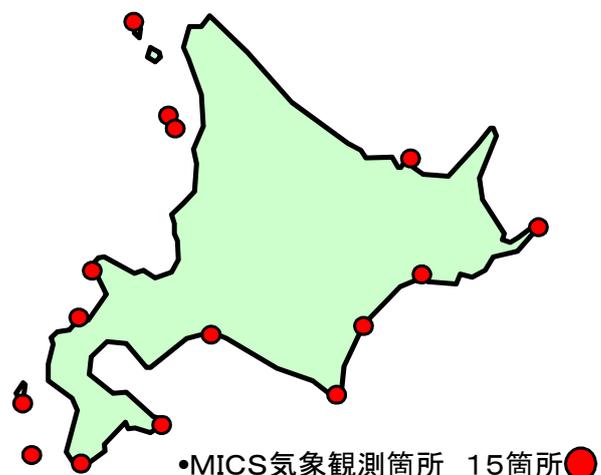


気象情報の入手

局地風を予測するのは難しいですが、一般の気象予報だけでなく、その地域の気象海象の特徴を知り、出港の可否などの判断をしましょう。

なお、MICSでは各地点の風向風速の確認ができます。

また、地方の方から聞いた地域毎の気象海象の特徴を「海のプロから聞いた海難防止のノウハウ」として掲載しています。



お問い合わせは **第一管区海上保安本部交通部**

電話 0134-27-0118 (内線2615, 2616)

MICS (スマホサイト) <http://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>



海難隻数及び海難による死者・
行方不明者数 (速報値)

5月	9隻、2人
平成27年累計	27隻、6人